



TITLE:

# バイルシュタインの有機化学ハンドブックについて

AUTHOR(S):

安藤, 貞一

---

CITATION:

安藤, 貞一. バイルシュタインの有機化学ハンドブックについて. 静脩  
1976, 12(2): 13-15

ISSUE DATE:

1976-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36741>

RIGHT:

うは易いが、これをどのような方法で実行していくかが問題となった。やはり第一に利用者が我々経済学部閲覧掛をどのように見ており、何を望んでいるかを知る必要がある。一方我々には我々なりに意見百出して、より良い閲覧室づくりに努力している事実も利用者に知ってほしい。では利用者と閲覧掛とのパイプ役をつとめてくれる新聞のようなものを出してはどうか、新聞の発行については全員賛成、さて実行にうつすとなると、ここでまた色々な問題が出てくる。

1. 発行する以上、内容が充実しており、しかも面白くそして利用者にとって少しでも役にたつこと。
2. 一度発行すれば100号までも200号までも続けなければならない。
3. 予算の少ない経済学部にとっては経費が最少限度で発行できるような方法でありたい。
4. 閲覧掛の本来の仕事に差し支えないこと。

以上のような様々な要素についても真剣に検討の上、全員で協力して実行することに踏み切った。このようにして誕生したのが「閲覧室だより」である。

先ず昨年10月9日準備号を発行し、250部刷ったが、4、5日で全部無くなってしまった。図書委員会にも発行の件を提出して了解された。また図書主任から学部の教官会議に報告されここでも了承を受けた。それに事務長から励ましの言葉を頂いたことも、我々のファイトをますます燃

やしてくれた。しかし何よりも掛員一同が感謝しているのは、原稿を利用者に依頼しても、経済学部は勿論、他学部の方々でも皆快く引受けて、率直な意見や感想を書いて下さったり、おりにふれて聞かせて下さったりすることだ。

このような恵まれた形でスタートした「閲覧室だより」も、第1号を11月に発行以後回を重ねて5号になった。色々な学部からボツボツ反響が聞えてくるようにもなってきた。これも我々には良い勉強になっている。ついでながらこの紙面をおかりして、今後共お気付きの点やご意見をどんどんお聞かせ下さいとお願いしておきたい。

さて、今後「閲覧室だより」はどのような方向に進んでゆくのだろうか。「新学期の4月には利用案内をのせては……」と図書主任からアドバイスも頂いている。また経済学部大学院経済学研究科発行の「授業計画及び講義概要」に出ている各教官が演習の教材に利用される教科書、指定書、参考書の所在調査をおこない、のせるのも利用者には便利であろう。このように時期に応じた記事も出すつもりである。利用者の声もなるべく毎号のせてゆきたい。閲覧掛で書庫等の整理計画をたてた時には、利用者に知らせる役目もしてもらおう。閲覧室会議では「閲覧室だより」の将来構想に色々と夢の花が咲いている。ともかく無理をせず、しかし号を重ねるごとに、ますます内容の充実したものにしていきたいと掛員一同腕をならせている。(経済学学部閲覧掛 内藤昭子)

## バイルシュタインの有機化学ハンドブックについて

工学部教授 安藤 貞一

御紹介したい。

バイルシュタインの有機化学ハンドブックが本年4月から付属図書館に備えられることになったのを機会に、このハンドブックについての概略と、これが付属図書館に備えられるに至った経緯とを

「バイルシュタイン」と通称されるこのハンドブックは、いやしくも有機化学の分野に関わる研究者である限り、その名を知らぬものはないであ

ろうと思われるくらいに有名な叢書で、有機化学系研究者のほとんどすべては、すくなくとも何度かは、これを手がかりとして文献を検索した思い出をもっているに違いない。

母体となったのは、1920年(1921年?)から1937年にかけてドイツ化学会から刊行された“Beilsteins Handbuch der organischen Chemie, 4. Auflage”で、ふつう Hauptwerkと呼ばれ、全29巻(索引2巻を含む)より成る。1910年1月1日までの文献に記載されたすべての有機化合物を構造上の特性から4877のクラスに分類して各クラスに属する化合物を炭素数の順に整理し、その構造式、物理定数、製法反応、誘導体の性質などを記述したもので、それぞれに原論文の引用がある。

この刊行が当時の有機化学系研究者にもたらした恩恵ははかり知れないものであったが、世界中のすべての資料にもとづく完全なハンドブックをめざす刊行者としては、当然その後の研究の進歩と研究領域の拡大とによって生み出される莫大な量の情報を補遺として刊行供給する必要に迫られざるを得ない。

その結果として生まれたのが第1、第2、第3および第4補遺(それぞれ erstes, zweites, drittes, viertes Ergänzungwerk と呼ばれ、分類法、巻数などすべて Hauptwerk の方式を踏襲している)であって、第1補遺は1910～1919年の文献を資料として1929～1938年に、第2補遺は1920～1929年の文献を資料として1941～1955年に(第2次世界大戦のため1945～1947年は中断)刊行された。第3補遺の1～16巻は1930～1939年の文献を資料として1958年以来刊行中、第4補遺の1～16巻は1940～1949年の文献を資料として1972年以来刊行中であり、また第3補遺の17巻以降は第4補遺の17巻以降と各巻ごとに合冊の形で1930～1959年の文献

を資料として1974年以来刊行中である。

なお、刊行者は第2次世界大戦後ドイツ化学会からそれまでの編集責任者であった F. Richter の手に移り、さらに第2補遺完成後は Beilstein-Institut für Literaturen der organischen Chemie にひきつがれて現在に至っている。

このように、バイルシュタインは有機化合物に関する過去の研究成果の集大成である。最新の刊行にかかる補遺ですら1959年までの情報しか含まないのだから、1976年という現在からみればもはやその必要性はうすいとする議論もないではないが、たとえ1959年までであるにしても、これほど完全な、これほど網羅的な、これほど信頼し得る情報源は絶対に他には求められない。

その意味で、バイルシュタインは有機化学者にとっては不可欠といってもよい存在であり、従来有機化学系の研究室をもつ教室や研究所ないし部局ではほとんど例外なくこれを図書室に備えてきたのであるが、何分にもその購入費用がぼう大であるため、この10年の間に、涙を吞んで購入を中止するところが相ついだ。

筆者の所属する教室(工学部工業化学教室)では、他教室、他部局の利用者の数が多いこともあって、高額な購入費の負担に喘ぎながらも辛うじてその購入を継続してきたが、昨年度以来遂にその費用は一教室で負担し得る限度を超えていると認めざるを得なくなった。

しかし、他に代えがたい価値をもつこのような基本的な図書が京都大学のどこにも備え付けられていないという事態を招くことだけでは何としてみても避けなければならぬとの考えのもとに、昭和50年度以降の刊行分については付属図書館で継続購入していただくよう、工学部商議員奥島教授を通じて商議会にお願いしたところ、幸いに商議員の方々の御賛同を得ることができ、肩の荷をおろした感を味わっている。紙上を借りて奥島教授はじめ商議員および関係の各位にあつく感謝したい。

なお、従来工業化学教室で購入保管してきた分は、一括して付属図書館に移管され、付属図書館購入分とあわせて4月初旬以降一般の閲覧に供せられるはずである。この図書が関係者に広く利用

されることを願ってやまない。

(原稿を草するにあたり工業化学教室助教授内本喜一朗氏の御援助を得た。記して謝意を表する)

## 昭和50年度特別図書費による購入図書リスト

書 名	冊数その他	備付部局	備 考
Graffin, R., & Nau, F., eds.: <i>Patrologia orientalis</i> . Paris. Firmin-Didot.	36冊	文学部	
The American immigration collection. Repr. ser. 1: 41 books, ser. 2: 33 books. New York, Arno Press, 1969-1970	74冊	"	
杜詩叢刊	71冊	"	
Revue d'assyriologie et d'archeologie Orientale. v. 1-43. Paris, 1884-1949.	43冊	"	
Società e costume, panorama di storia sociale e tecnologia. v. 1-4, 6-8. Torino, U. T. E. T., 1973.	14冊	"	
Asiatische Studien (Etudes Asiatiques) Bd. 1-27. Bern, 1947-1973.	28冊	"	
東寺百合文書		"	マイクロフィルム
テヘラン大学中央図書館蔵 ペルシア語写本「11~16世紀歴史書」		"	マイクロフィルム
Freeman, A., ed.: <i>English stage; attack and defense</i> , 1577-1730. v. 1-34. Repr. New York, Garland, 1974.	34冊	"	
Arnauld, Antoine: <i>Oeuvres</i> . (Paris, 1775-83) Repr. Bruxelles, Culture et Civilisation, 1965-1967.		"	
Special reports on education subjects. Office of Special Inquiries and Reports. v. 10-28; 1902- 1914.	16冊	教育学部	
Human development, v. 1-14; 1958-1971.	14冊	"	
Classics in psychology. Advisory ed.: Howard Gardner and Judith Gardner.	42冊	"	
Social service review. v. 37-47; 1963-1973.	11冊	"	